



令和6年(2024年)3月22日 公表

令和5年版 山口県瀬戸内海側重要魚種の資源評価

サワラ(瀬戸内海系群)

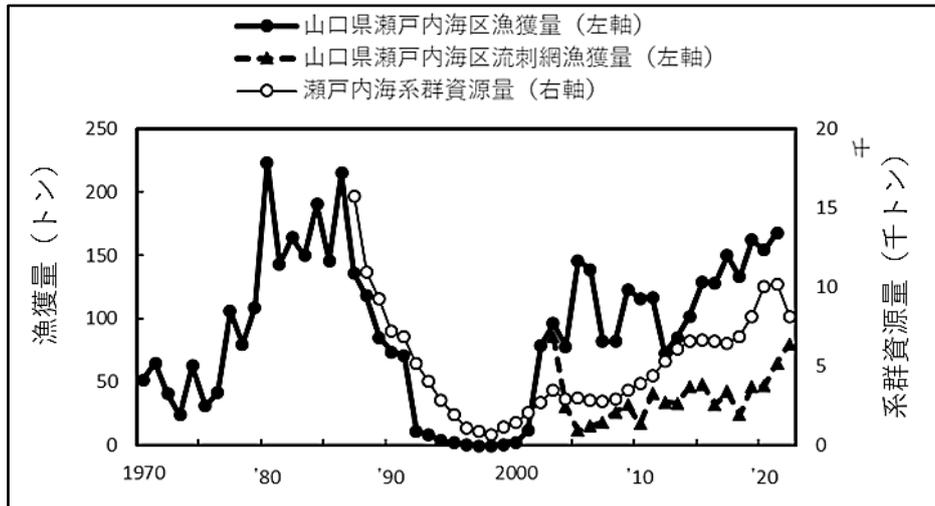


図 山口県瀬戸内海区サワラ漁獲量(農林水産省統計情報水産業調査 HP)、山口県瀬戸内海区流刺網漁獲量(当センター集計)及び瀬戸内海系群サワラ資源量((国)水産研究・教育機構資源評価報告書)の推移

【漁業】サワラは主に流しさし網、ひき縄で漁獲される。主な漁獲サイズは 65 cm~80cm (3~4 歳) である。

【漁獲量】山口県瀬戸内海区の漁獲量は、1980 年の 223 トン、1986 年の 215 トンをピークに減少傾向に転じ、1996 年~2000 年の 1 トン未満まで著しく減少したが、2004 年以降、増加傾向に転じ、2021 年の漁獲量は 168 トンとなった。

【資源状態】資源量は資源量推定が始まった 1987 年の 15,718 トンをピークに急減し 1998 年には 688 トンまで減少した。翌 1999 年から増加に転じ 2022 年は 8,100 トンであった。2022 年の親魚量 (SB) は最大持続生産量 (MSY) を実現する親魚量 (目標管理基準値案) の 0.42 倍と下回った。また、漁獲圧は最大持続生産量 (MSY) を実現する漁獲圧を上回ったことから、資源状態の目安となる神戸チャートにおいて、2022 年は赤ゾーンにプロットされた。

サワラ瀬戸内海系群の資源評価関連指標値等 (単位: トン)

2022 年 漁獲量	最大持続生産 量 (MSY)	2022 年 親魚量	目標管理 基準値 (案)	限界管理 基準値 (案)	禁漁水準 (案)
2,600	5,600	5,400	12,900	5,700	900